

かいほジャーナル



海上保安庁
JAPAN COAST GUARD

2014 WINTER

Vol. 61



厳しく鍛え、温かく伸ばす

【特集 海上保安学校】

Contents

Vol.
61

かいほジャーナル 2014 WINTER

PHOTO GRAVURE

- 1 「スカイフェスティバル2014 in 紋別」で海保をPR
- 1 第10回アジア海上保安機関長官級会合
- 2 2014海保フェア in 立川
- 2 久米島沖に国内最大のチムニー群を発見
- 3 海上保安庁音楽隊第21回定期演奏会
- 3 西之島の噴火から1年経過

特集

海上保安学校

厳しく鍛え、温かく伸ばす

TOPICS

舞鶴エトセトラ

～特集では伝え切れなかった舞鶴をここで～

NEWS FLASH

裏表紙

INFORMATION

1月18日は「118番の日」



表紙



新たな地で意欲に燃える学生たち



巡視船「みうら」



平成26年9月14日（日）、第一管区海上保安本部紋別海上保安部は「スカイフェスティバル2014 in 紋別」に参加し海上保安庁のPRを行いました。

ステージイベントでは空の日のシンボルキャラクターの「くに来る」、地元ご当地キャラクターの「紋太」、そして我らが「うみまる」が大集合しました。

キャラクタークイズ大会やキャラクター撮影会では子どもたちの笑い声や笑顔があふれていました。

クイズ大会では「海の事件や事故を見たときの電話番号は118番である。○か×か?」の問題に子どもたち全員が○を選び、紋別海上保安部もご満悦。地道に行ってきたPR活動が身を結んだ瞬間を肌で感じることができました。



「スカイフェスティバル 2014 in 紋別」で海保をPR



平成26年9月30日（火）、アジア各国の海上保安機関の長官級が参加する、「第10回アジア海上保安機関長官級会合」が横浜にて開催され、海上保安庁からは佐藤雄二 海上保安庁長官が出席しました。

本会合では、平成24年のインド会合以降取組んでいる捜索救助など5つの分野の有効性の確認、

今後の活動継続、来年度の主催国をフィリピンとすることなどに合意し、共同宣言が取りまとめられました。

また、特に我が国の重要な海上交通路であるマラッカ・シンガポール海峡周辺を含むアジア海域で発生している海上不法活動への対応に各国が今後とも取り組みに万全を期すことに合意しました。



第10回アジア海上保安機関 長官級会合



2014 海保フェア in 立川



平成26年10月18日（土）、東京都立川市の海上保安試験研究センターにおいて「2014海保フェアin立川」を開催しました。

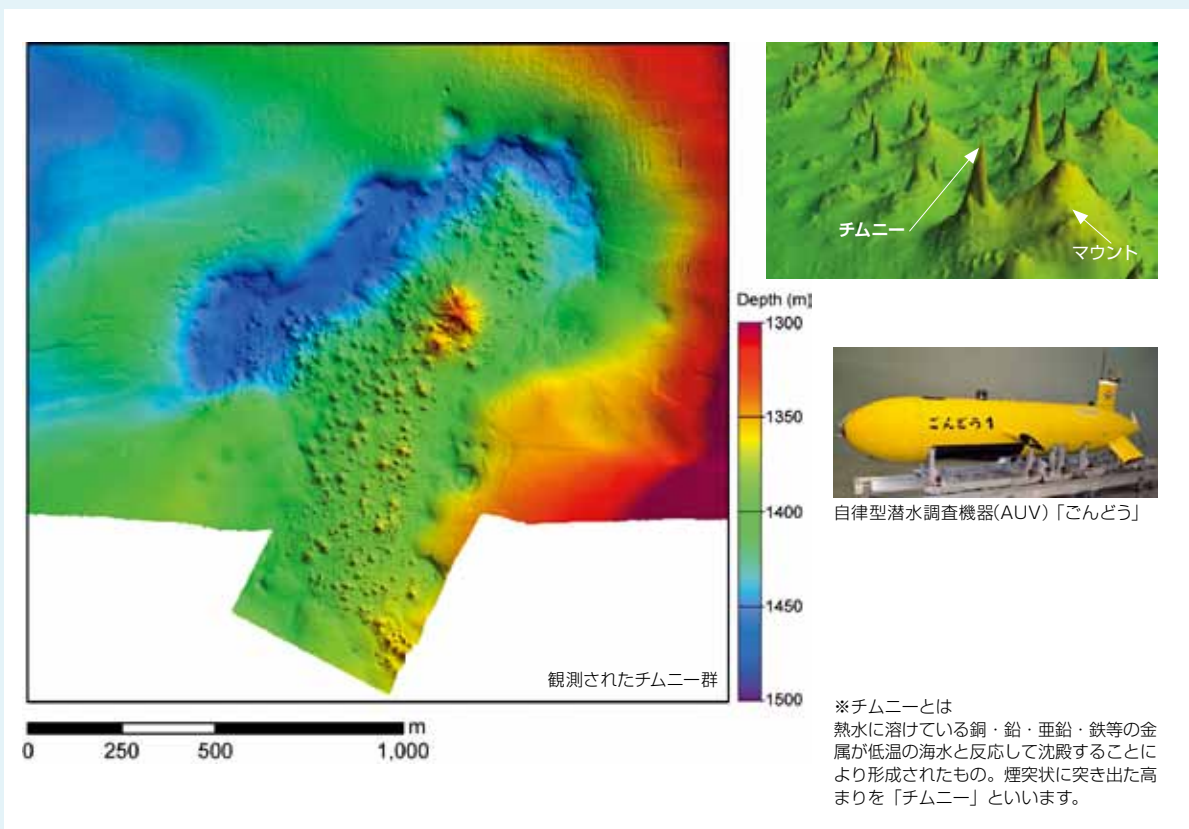
このイベントは、広く国民の皆様々に試験研究センターの研究成果や多種多様な海上保安業務を紹介す

ることを目的に行われ、今年で16回目を迎えました。

当日は、約1,100人の方が来場され、研究成果やヘリコプターによる救助訓練などをご覧いただいた他、海上保安庁音楽隊によるランチタイムコンサートも行われ、多くの来場者に楽しんでいただきました。



久米島沖に国内最大の チムニー群を発見



海上保安庁は沖縄県久米島沖において、自律型潜水調査機器（AUV）による調査を実施した結果、水深約1400mの海底に、これまで日本

周辺で知られている中では最も規模の大きなチムニー群を発見しました。得られた成果は、海洋開発等にも役立つことが期待されます。



海上保安庁音楽隊 第21回定期演奏会



平成26年11月8日（土）、海上保安庁音楽隊の第21回定期演奏会が東京都品川区の「ゆうぼうとホール」において開催され、会場には一般応募の中から抽選で選ばれた方々や来賓の方々など、合わせて約1,600名にご来場いただきました。

開演に先立ち、サクソ四重奏により「星に願いを」など4曲を披露してウエルカム演奏を行いました。

プログラム第I部は冒頭で金管楽器のファンファーレで幕を開け、行進曲「JACK TAR」や喜歌劇「ウィーンの朝、昼、晩」序曲などクラシックな雰囲気

のステージを、第II部はパーカッションのドラムマーチで隊員が入場し、「76本のトロンボーン」を始め、「バンドのためのゴジラファンタジー」、「映画『アナと雪の女王』より シンフォニック・ハイライト」、「シャル・ウィ・ダンス？」など映画音楽を中心としたステージをそれぞれお届けしました。

プログラム終演後は拍手が鳴り止まず、用意していたアンコール曲2曲で足りなくなり、急遽もう1曲を演奏するといううれしいハプニングとともに大変盛況の内に幕を閉じることができました。



西之島の噴火から1年経過



平成25年11月20日に噴火が確認された西之島が、その後も活動を続け、溶岩流などにより形成された陸地の面積は東京ドームの約40倍の約1.85平方km（平成26年10月16日現在）となっていることが確認されています。

噴火は1分間に5～6回発生しており、火砕丘からの溶岩の流出は活発な状態で継続しており、勢いが衰退する兆候は見られません。

海上保安庁では付近航行船舶の安全のため、引き続き航行警報により警戒を呼びかけていきます。





短期間で若者を育て現場へ送り出す……。
猶予のない大量増員に応える海上保安学校の今



高まる海上保安官ニーズ

近年、海上保安官の確保は吃緊の課題だ。昭和23年に創設された海上保安庁は現在、二度目の大量退職時期を迎えており、ベテラン海上保安官の数が減少しているのが大きな要因だ。また平成20年の複数クルー制導入により、現場はより多くの職員を必要とするようになっていた。加えて、緊迫している尖閣諸島周辺海域での領海警備体制の増強がある。今は全国の管区から大型巡視船を投入して警備にあたりているが、さらなる警備力強化のために大型巡視船の新造が進められており、より恒常的な体制強化が求められているのだ。当然、船を動かし警備を行う海上保安官の数も足りなくなる。

こうしたニーズに応えるため海上保安学校も今年度から学生数をおよそ1・5

厳しく鍛え、 温かく伸ばす

領海警備体制の強化や職員の大量退職時期が重なるなど海上保安官の大幅な増員が求められている今、学生数を増やしニーズに応える海上保安学校をレポートする
取材・文／中島敦（オンサイト）



倍増しており、それに伴い施設や教官の拡充は必須となることから、「学生大量養成期に向けた教育改革」に沿って、昨年度は厨房機器の大型化や増設、女子トイレを増設、また今年は学生寮である青葉寮と第二厚生棟を建設した。さらには校外の設備での教育訓練用に移動用バス、小型船舶免許取得のための教習艇も増強している。なお、学生数全体に占める女性の比率は約15パーセント（海上保安官全体では5%）となっているが、今後さらにこの比率を高めていくためにも女性教官の増員も求められている。

増員による変化と課題

急激な学生数の増加は教育の現場にどのような変化をもたらしているのか、教育現場を統括する船越良行学校長に話を伺った。

「教える側としては教職員を増やし、施設を工夫しながら活用することで対応しています。教官を増員していただきましたが、やはり足りない。そこで応援教官として専門以外の授業も受け持たせたり、複数の役割を併任させるなど、配置や人員を見直しています」と船越校長は説明する。

興味深いのは今年取り入れられた管区別の分隊編成だ。海上保安学校では毎年4月と10月、半年毎に新入生が入学するが、学生は各分隊に所属することになる。この分隊では分隊長をリーダーに先輩期の学生が後輩期の学生を指導し寮生活の基本を成しているが、学生数の増加に伴っ

救難防災の授業のために巡視船「みうら」に乗り込む学生たち。乗船実習以外にも実践的な教室として「みうら」は活用されている。



て「同じ管区に配属される同期の学生同士が顔を知らない」という事態が見受けられるようになった。そこで、入学したての後輩期では従来どおり管区に係属なく全国の学生が入り交じる分隊編成を保ちつつ、先輩期では分隊を管区別に編成することで、いざ現場に出る際に同じ管区の同期生同士のつながりを持てるようにしたという。学生数増加に起因する大きな変化と言えよう。

海上保安学校での教育の核となるこの分隊制は、チームワークが求められる海上保安官の育成に極めて重要な役割を担っている。慣れない全寮制での生活や厳

しい教育訓練に悩みとまどう後輩を先輩がフォローする。後輩として面倒を見てもらっていた学生もわずか半年後には先輩となり、後輩を指導する責任を負う。この集団生活の中で学生達は大きく変化し、成長していくのだ。

一方、このように大量の学生に細かく目を配り指導する教官の役割も極めて重要となる。英語の教官を除けば、この教官を務めるのは皆現役の海上保安官であり、言わば学生達の先輩だ。現在基本動作の授業を受け持っている水本秀樹教官も、海上保安学校に来る前は姫路海上保安部の巡視艇「ぬのびき」で船長経験も



「名称こそ海上保安学校ですが、ここは海上保安官の養成所です」と語る船越良行学校長。海上保安業務を巡る厳しい情勢を踏まえて改革を進め、学生数大幅増員に対応している。



毎朝6時30分の起床整列では海上保安体操を実施。学生達の掛け声とその姿は壮観だ。



1 巡視船「みうら」での乗船授業を終えた学生達。2 授業によっては「みうら」の中で実施される。実際の装備や機器を手にしながらの授業に気が引きます。3 起床整列の後の清掃。自室はもちろんのこと、通路や洗面所、風呂場、そしてトイレまで学生達の手できれいに保たれている。4 食事の時間はささやかな楽しみ(?) 慣れないうちは短時間で食事を終わられない学生も。

短期間で成長しそして現場へ

あつたが、本部勤務時代に遭遇した若手海上保安官の殉職事故をきっかけに海上保安学校の教官を務めようと決意した。「彼らは卒業すれば自分の後輩であり、そういう意味では同僚となる存在です。怪我をせず、事故を起こさず、現場で他の海上保安官と協調できる海上保安官になって欲しい」と願うが故に、訓練で学生に向き合うときの表情や言葉は厳しくなるという。

厳しい海上保安の現場に順応でき、即戦力となる人材を育てる海上保安学校では、もともと全寮制での厳しい教育が実施されているが、それだけに短期間で鍛え上げられ成長していく学生の姿を目の当たりにすることができる。

入学後、乗船実習後、半年後、卒業前と、折に触れ学生が提出する作文からも学生の成長が伺えるが、特に学生が大きく進歩したと感じられるのが乗船実習だという。実際の巡視船を使うこの乗船実習では、学生に対して、乗組員から非常に厳しい声が発せられることもしばしばだ。船越校長は「乗船実習を通じて学生は、『ここは学校ではあるが、テストでいい成績を取ればよいというものではない。もつと真剣に取り組まないとダメだ』ということを理解するのでしょう。モチベーションも上がります」と語る。前期、後期の2回実施される乗船実習は、カリキュラムの中の大きな区切りとも言える重要なものなのだ。

また、半年後の作文からは、学生の不安

「一緒に船を動かしたいと思われる人材に」

航海教室 重松 吾郎教官

船を操縦する航海士を育てる航海教官を務める重松教官は、巡視船『みうら』教官を経て海上保安学校教官となる。自らが学んだときの経験を生かし、より具体的に、学生が理解しやすい授業を工夫している。

「巡視船『みうら』で教えた経験と、海上保安学校の教室で教えている現状を比べると、やはり『みうら』にいたときのほうがやりやすい部分はありません。学校では1コマ45分間、教室では、どうしても教科書等での授業となりがちですが、『みうら』では実際に目の前のモノを動かしたり、あるいは学生自身に動かさせることで理解を深めてもらうことができるんです。ですから授業でも、できる限り実体験させることを心がけています。航海に欠かすことのできないジャイロコンパスの理論にしても、地球ゴ

マを使った模型を自作して学生に触らせることで事象を理解させる。「あ、こう動くんだな」と身体が覚えてくれば、理屈は後からついてきます。実はこの方法、私が保安大学校で学んだときの教官の教え方で、今度は私がそれを学生に伝えようとしているのです。

また、できるだけ色々な話をして様々なことを知ってもらえるようにも心がけています。『将来を予見据えて点と点を繋ぎ合わせることはできない。できるのは後から繋ぎ合わせることだけ』というのはアップルのスティーブ・ジョブズの言葉ですが、私もできるだけたくさん点を撒いておきたい。そのときは忘れてもよいので、学生が後になって『ああ、あのとき話していたのはこれか』と気づいて興味をもってくれればいい。私心がけているのは、実体験させること、点の数を増やすこと、この2つなのです。



一方、卒業した学生には、現場に出たときに先輩の人達から「こいつと一緒に船を動かしたいな」と思ってもらえる人材になって欲しいと願っています。そのために何が必要かと言えば、やはり謙虚さや素直さ、あるいはやる気であったりするでしょう。船の仕事は何となくチームワークですものだからね。

教官の声 Instructor's voice

「怪我をせず、事故を起こさず、元気な海上保安官に」

訓練課 水本 秀樹係長



海上保安学校に入学した学生は、海上保安官としての基本動作をしっかりと叩き込まれる。日々行なわれる整列や行進、さらには日常での所作の礎となる基本動作は、厳しい業務の中で集中力を維持し、未然に事故を防ぐためにも欠かせないものだ。

「第六管区で企画係長をしていたときに、残念なことですが若い海上保安官の殉職事故がありました。どうしたら事故を防ぐことができるのかを考えたとき、最近の人は十分な体力や危険を予知する能力が低下しているとも言われますし、実際に現場で確認してそういった能力を備えた海上保安官を育てたいと考えて希望して教官になりました。基本動作は海上保安学校に入学したその日から、最後の辞める日、辞令を受け取る時まで続いていきます。制服官庁ですから、警察や消防、自衛隊といった他の官庁にも負けないスマートで品位のある基本動作を学生に教えています。入校してから入学式まで1週間ほど、この間は特に基本動作の授業はありませんが、日々の厳しい整列などで指導され学生も大きく変わります。入学式に来られるご両親

からも「うちの子は1週間で変わった」とよく言われます。

また米軍やアメリカのコストガードなどと交流する際にも、例えば敬礼ひとつにしても基本動作が問われます。それだけに対外的にも恥ずかしくない基本動作を身につけなければなりません。

教官と言えども、我々は現場と一緒に働く同僚であり仲間であると、日々学生には伝えていきます。現場で怪我をせず、事故を起こさず、そして元気に海上保安官を務めて欲しい。そのためにも指導は厳しいですし、厳しいことを口にします。「余分なことは言わない。だから教官の言うことはすべて真剣に聞け！」とね。本当は私、そういうタイプではない、と自分では思っているのですけれどね(笑)」

も読み取れるという。新たに入学してくる後輩を迎える時期であり、今まで後輩だった自分が先輩になるという緊張感、さらには半年後にはもう現場に出ていくのだという緊張感の中で、彼らはより真摯に残りの学生生活に取り組み、間近に迫る現場での日々を思いを馳せる。

半年という短いスパンで区切られ、教官や先輩から厳しく、しかし温かい指導を受けながら、一人ひとり成長していく学生たち。入学式ときにはおぼつかなかった整列や行進も卒業式ではピシリと統率され見事な動きを見せ、船越校長も「卒業式はとても感動的です」と語る。

海上保安学校には、学生が自分の力を伸ばすための環境が整っている。学業に、訓練に厳しい日々を過ごすからこそ、彼らは自身の成長を実感することができる。そして、共に苦労を重ねた同期はもちろん、先輩・後輩との深い繋がりが貴重な財産となる。

「彼らの安全を考えるとつい厳しくなってしまう」という水本教官の言葉は、後輩を見守る気持ちの表れでもある。「でも本当はそう厳しい人間ではありませんし、いつかはそれを彼らに伝えたい」とも。厳しい学校生活を通じて学生たちは、社会性や知識と技能、そして体力を身につけて現場へと送り出されていく。そのとき現場の海上保安官たちは、笑顔で温かく後輩を迎え入れることだろう。若き海上保安官がそんな先輩の笑顔に触れる日は近い。



海上保安学校のカリキュラムと 主な行事、1日の流れ

京都府舞鶴の海に囲まれた美しい環境の中で学生達は実践的な授業で、海上保安業務に必要な知識や技能を学び、心身を鍛え各分野のエキスパートとして巣立っていきます

カリキュラム

カリキュラム	船舶運航システム課程(1年)			情報システム課程(2年)	航空課程(1年)	海洋科学課程(1年)
	現場で活躍する海上保安官として、巡視船艇の運航に必要な知識・技能及び海上犯罪取締等の知識を習得する課程です。卒業後はコースに応じて巡視船艇の運航を担当するとともに警備救難業務などに従事します。	海上保安官として通信機器の運用・管理と航行安全に必要な知識・技能及び海上犯罪取締等の知識を習得する課程です。卒業後は主に情報通信業務、海上交通業務を担当します。			海上保安庁の航空機のパイロットになるための基礎教養を習得し、海上犯罪取締等の知識を習得する課程です。卒業後は、さらに研修を受け、航空機のパイロットとなります。	航海の安全を確保するために必要なさまざまな海洋データを収集・解析し、提供する海上保安官を育てる課程です。卒業後は主に海洋情報業務を担当します。
	航海コース	機関コース	主計コース			
全過程共通科目	基礎教養(法学概要、国際法、海上保安業務概要等)、英語、情報処理、小型船舶操縦、体育・基本動作、乗船実習					
船舶運航システム課程、航空課程、情報システム課程共通科目	刑法、刑事訴訟法、海上警察、海上環境、救難防災、訓練					
各課程専門科目	航海、運用、海事法、通信運用	機関、電気機器、海事法、通信運用	主計(総務・経理・船舶衛生)、調理、通信運用	物理、数学、情報通信、電気機器、基礎電子工学、航行援助システム機器・管理	物理、数学、航空通信運用、海上航空業務、船舶概論	数学、基礎科学、海象・気象、測量、通信運用
取得できる資格	◎五級海技士(航海)筆記試験免除	◎内燃機関五級海技士(機関)筆記試験免除	△船舶料理士 △衛生管理者(船員法による)	◎第三級海上無線通信士 ◎航空無線通信士 ◎第二級陸上特殊無線技士 ◎第二級陸上無線技術士	◎航空特殊無線技士 ◎航空無線通信士	◎第一級海上特殊無線技士 ◎第二級陸上特殊無線技士
	○一級小型船舶操縦士 ※[四級海技士(航海)] [四級海技士(機関)] など、さらに上位の資格も取得できます。 取得資格 ◎・・・卒業により取得 ○・・・在学中の受験により取得 △・・・卒業後一定の条件を満たすことにより取得					

卒業後の 進路

管区内転動

巡視船艇等
(警備救難業務等)

海上保安部等
(海上交通業務等)

※卒業後、「潜水士」「特殊救難隊員」「国際捜査官」といったスペシャリストとして活躍する道もあります。

全国転勤

航空研修
(パイロット養成)

航空基地
(警備救難業務等)

本庁・管区本部
(海洋情報業務等)

幹部登用への道

一定期間現場で仕事をした後、選抜された職員については、海上保安大学校の特修科に進み、幹部職員となる道もあります。

Student's voice

在校生の声

主計コース 齊藤 里奈

「船の中では食事が楽しみという話も聞いていますが、そういう意味でも職員の方をサポートするポジションに魅力を感じて主計を選びました。元々、部活



動で副キャプテンを務めていたこともあり、団体生活の中で人をサポートしてきました。もちろん船の中の環境は厳しいでしょうけれど、その中でも和やかなひとときというのがあります。また私は海なし県の出身ですが、だからこそ海を知らない人が陥りがちな危険も予測できると思っています。マリレジャーの事故防止にも携わっていききたいですし、そのためには地元の人との交流も必要になると思うので、そういった面も学んでいきたいと思っています」

機関コース 高波 拓也

「報道や映画『海猿』で海上保安庁の潜水士が活躍するのを見て、潜水士に憧れて入学を決めました。実は4年前に海上保安庁と警察を受けたのですがこ



っちは落ちてしまい、一度警察に就職しているんです。でも海上保安官への夢をあきらめることができず、警察を退職して再挑戦しました。警察学校でも10ヵ月間、寮生活の厳しさを経験しています。教官や先輩方が厳しいといっても、理不尽なことはありません。時に厳しく、時に優しく指導していただいています。まずは1年間しっかり勉強し、機関士としての力を身に付け、その上で潜水士を目指したい。特救隊を目指して、やれるところまでやりたいです」

航海コース 喜多 麻美

「最初に海上保安官という職業を知ったのは『海猿』で、映画に登場する白い巡視船に憧れていました。学生時代には海上保安友の会に入り、その時に巡視



船に乗せていただき、自分もこの制服を着てこの白い船で大好きな海の安全を守りたいと強く感じました。寮生活は厳しいし、食事の時間も短いで大変ですが、その中でも基本動作というものにいちばん戸惑いました。厳しく叩き込まれるというのはもちろんですが、自分ではできているつもりになっていても全員では揃わない。基本動作があつてはじめて同期とのコミュニケーションや距離の取り方が分かってきた感じがします。基本動作って本当に大事な基本なんだと痛感しています」

年間行事

4月 入学式

5月 春季行軍

6月 基本動作大会

いつもり祭(学生祭)

7月 オープンキャンパス

遠泳訓練

9月 卒業式

10月 入学式

12月 早朝訓練

1月 基本動作大会

3月 卒業式



1日の流れ

06:30	起床(起床整理・体操・清掃)
07:25	朝食
08:20	課業整理
08:30~11:50	課業
11:50~12:50	昼食・課業準備等
12:50~17:15	課業・クラブ活動
17:30~21:00	夕食・入浴
20:00~22:00	自習時間
22:30	就寝(翌日が休日の場合は23:15)



※原則として17:15以降毎日外出は可能です。休日の前日は外泊もできます。

※帰校門限22:15(翌日が休日の場合は23:00)

※おおむね土曜日、日曜日、国民の祝日は休日です。そのほかに、夏季・年末年始などに長期の休暇もあります。

国際交流

夏休みを利用し、学生がアメリカ、イギリスなどを訪れるなど、国際交流を行っています。

待遇

入学と同時に国家公務員(海上保安庁職員)として採用されます。そのため、給与(月額約14万円)やボーナス(年2回)が支給されるほか、国土交通省共済組合員として保険給付などが受けられます。また、入学金や授業料が不要なほか、制服も貸与されます。

福利厚生

寮(全寮制)のほか、医務室などの施設が完備されています。医務室には、医師、看護師が配置され、十分な保健指導を行っています。そのほか校内には喫茶店、売店などがあります。

クラブ活動

※体育系クラブ活動のいずれかに属し、心身の練成をはかります。

ラグビー、柔道、剣道、空手道、逮捕術、漕艇(カッター)、ソフトボール、バスケットボール、バレーボール、陸上、サッカー、マルチトレーニング、バドミントン、卓球、水泳、ハンドボール、綱引き



航空課程 本多 翔太

「大学卒業後に一度就職したのですが、幼い頃からめざしていたパイロットになりたくて海上保安学校に入りました。いちおう社会経験もあるので少しは社



会のことをわかっているつもりでしたが、一般企業で学んできたことと海上保安庁の常識というものがまったく違っていました。中でも常に時間に縛られる生活に慣れるのには結構時間がかかりました。自分は学校を卒業した後は資格取得のための研修を受け、それから現場に出ることになるわけですが、例えば大きな救難があったときに、天候が悪い中でも『本多だったらやってくれるんじゃないか』と頼りにしてもらえ、まわりの職員に安心感を与えられるようなパイロットをめざしています」

航海コース 浅野 陽太

「小さい頃は消防士に憧れていましたが、自分が本当にしたいことは何かを考えたとき、消防士のように救難に携わったり、海の警察官として幅広い分野



携わることに魅力を感じて海上保安庁に入りました。入学して半年が過ぎ今はなんとも思いませんが、最初は食事の時間も短くて大変でした。それに体力面などは自発的に自分の時間の中でトレーニングしなければ自分の力を伸ばすことはできないと考えています。卒業後は積極的に仕事に取り組んで周囲の人に信頼してもらい、早く仕事を覚えて『浅野が乗っている船なら安心だ』と言われるようなになりたい。そのためにも暇な一日を過ごすことがないよう努力していきたいと思っています」

情報システム課程 遠藤 祐

「中学生のときに遊泳区域を超えて遊んでいたのを注意されたのが、海上保安官という仕事を知ったきっかけです。高校を卒業してすぐに18歳で入学しました。



ここでは半年経つと後輩ができるんですが、その後輩がほとんど年上というのは正直心が痛みました。今は慣れましたが、やはり年上に限らず人に指示するのは、それだけ責任も負うことですし、最初はやりづらいと感じました。現場に出たら何でも吸収する精神を忘れずに上司の期待にしっかりと応えていきたい。あと、今は寮生活で食事も用意されていますが、現場に出るときは多分ひとり暮らしになります。私生活でもしっかりと規律ある生活をしていきたいと思っています」



舞鶴エトセトラ

特集では伝えきれなかった舞鶴をここで

海上保安学校は全寮制であり、入学した学生たちは3つの寮に別れて生活をするようになる。

男子学生が生活を行う「仰青寮」、女子学生が生活を行う「凜清寮」、そして近年の学生増加に対応するために新設された「青葉寮」が存在し、学生は1～2年間の学生生活をこの寮で過ごす。

寮内にある、学生それぞれの机には、大量の数の教科書が置かれており、この教科書の数を見ると、学生たちが1年もしくは2年でいかに多くのことを学ばなくてはならないかがうかがえる。

また、新設された寮に加え、第二厚生棟の新設や小型船舶免許を取得させるための教習艇の増強など、学生が生活を送る、教育を受ける施設の充実が図られている。

海上保安学校の3つの寮



学校での食事



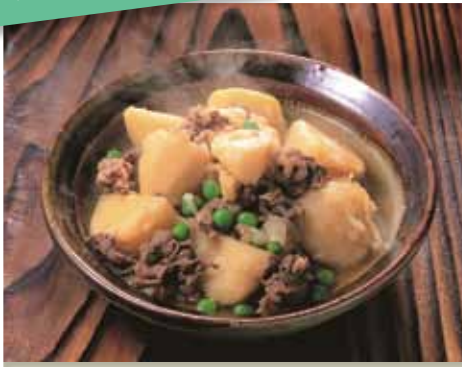
海上保安学校で生活を行うと、食事の量、スピードがアップする学生が多いらしい。実際に同じ食事をいただいたが、なるほど納得できる。

一見すると、普通の量の食事メニューであり、特に分量が多いとは感じられない。

だが、この分量を学生たちはわずか10分で平らげてしまうのだ。(夕食については15分)

しかし、入学したばかりの学生にとっては、時間内に平らげるということが難しく、多くの学生が完食できないという。だが、学校生活に慣れるにつれて、食事量もスピードもアップし、ほとんどの学生が完食できるようになるようだ。

肉じゃがのルーツ



明治34年、舞鶴海軍鎮守府初代司令長官として赴任した東郷平八郎がイギリスで食べたビーフシチューの味が忘れられず、部下に命じて作らせたのがルーツといわれている。だが、ワインもデミグラスソースも無く、醤油と砂糖で味付けしたものが肉じゃがのルーツといわれているようだ。舞鶴に全国で唯一海軍の料理教科書「海軍厨業管理教科書」が残っており、この中に「甘煮」として記載されているのが、元祖肉じゃがである。舞鶴では、元祖肉じゃがの味を後世に伝えていくために市民の有志によって「まいづる肉じゃがまつり実行委員会」がつくられ、市内外のイベントなどで元祖肉じゃがを提供しているという。



舞鶴の通り名

海上保安学校のある舞鶴の町を歩いてみると、東西に走る通りにそれぞれ船の絵とともに「八島通」「敷島通」「初瀬通」「三笠通」などの名前が看板で掲げられているのに気づく。船に詳しい方ならばご存知かもしれないが、これらの通り名は実は軍艦の名前として知られている。かつて、軍港の街として栄え、現在も海軍にゆかりのある施設が数多く残る舞鶴の街らしい通り名である。



NEWS FLASH



▲ 八管区 **油防除訓練及び有害液体物質防除講習の実施** (境海上保安部/9月17日)



▲ 八管区 **立石岬灯台 特別公開** (敦賀海上保安部/9月13日)



▲ 三管区 **国際テロ対策茨城三港合同訓練** (茨城海上保安部/9月12日)



▲ 九管区 **富山県内の各消防本部との合同潜水訓練実施** (伏木海上保安部巡視船「やびこ」/10月2日)



▲ 大学校 **広島土砂災害復旧ボランティアに海保大学生が参加** (海上保安大学校/8月30、31日)



▲ 二管区 **庄内空港空の日フェスタに参加** (酒田海上保安部/10月5日)



▲ 三管区 **海上保安庁音楽隊体験入隊!** (音楽隊・東京海上保安部/9月3日)



一管区 「薬物及び銃器取締強化期間」
街頭キャンペーン
(小樽海上保安部/5月14日)



四管区 名古屋港浮標基地を小学生が見学
(第四管区海上保安本部、名古屋海上保安部/10月8日)



七管区 福岡空港「空の日」イベントで海保PR
(福岡航空基地/10月12日)



五管区 全国最大規模の津波災害訓練で連携を強化
(田辺海上保安部/10月19日)



十管区 「マラソンで118番PR」
(串木野海上保安部/10月19日)

第15回未来に残そう青い海・
海上保安庁図画コンクール
海上保安庁長官賞等の決定
(10月20日)

特別賞
(国土交通大臣賞)

小学生高学年の部
愛媛県/松前町立 北伊予小学校・6年生
西村 堯 (にしむらすみれ)



海上保安庁
長官賞



小学生低学年の部
鹿児島県/奄美市立 朝日小学校・3年生
兒玉朋樹 (こだまともぎ)



小学生高学年の部
佐賀県/唐津市立 浜崎小学校・4年生
吉原界 (よしはらかい)



中学生の部
山口県/周南市立 周陽中学校・3年生
村木晴菜 (むらきはるな)

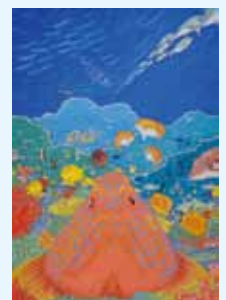
海上保安協会
会長賞



小学生低学年の部
福岡県/福岡市立 青葉小学校・1年生
松山凜香 (まつやまりんか)



小学生高学年の部
静岡県/下田市立 稲生沢小学校・6年生
矢田部晴海 (やたべはるみ)



中学生の部
徳島県/松茂町立 松茂中学校・3年生
箱井瑛光 (はこいあきみつ)



海上保安庁 118番

「118番」は海上保安庁緊急通報用電話番号です。



愛します! 守ります! 日本の海